

## 第8回世界水フォーラムへの参加について

本年3月に、ブラジル・ブラジリアで開催される水に関する世界最大級の国際会議である第8回世界水フォーラムに参加し、この中で滋賀県が主催者となって「湖沼セッション」を開催する。

### 1. 世界水フォーラム概要

- 主 催：世界水会議、ブラジル連邦共和国政府、ブラジリア連邦区  
日 時：2018年3月18日(日)～23日(金)  
会 場：ブラジル連邦共和国・ブラジリア  
テ ー マ：Sharing Water  
概 要：3年に一度開催される水に関する世界最大級の会議。  
前回(韓国)は、168ヶ国から、閣僚含む46,000人が参加。  
経 緯：2003年(平成15年)には、第3回フォーラムを琵琶湖淀川流域で開催。

### 2. 湖沼セッション概要

- 日 時：2018年3月21日(水) 16:30～18:00(現地時間・予定)  
場 所：ブラジリア ユリシーズ・ギマラエス・コンベンションセンター  
目 的：湖沼環境保全の重要性を世界に向けて発信する。  
セッション名：「湖沼とそれにつながる水系の統合的管理：持続可能な生態系サービスのための社会経済的・科学的な挑戦」  
発表・  
パネリスト：世界6ヶ国から、10名の参加を予定。  
(姉妹友好州のアメリカ ミシガン州、ブラジル リオ・グランデ・ド・スール州、国連環境計画(UNEP)、国際湖沼環境委員会(ILEC)など)

### 3. その他の取組

#### (1) 発表

第8回世界水フォーラムは、「テーマ別」「地域」「政治」「持続可能性」「市民」の5つの分野と「特別セッション」などにより構成されている。このうち、滋賀県は、「特別セッション」における「湖沼セッション」の開催をはじめ、「テーマ別」、「地域」、「政治」の各分野で発表を行う予定。

#### (2) 日本パビリオンへの出展

日本政府主催の日本パビリオンにブースを出展するとともに、プレゼンテーションを行い、滋賀県の湖沼環境保全の取組と併せて観光情報の発信も行う。

#### (3) ガイドラインや配布物への寄稿

アジア河川流域機構ネットワークが作成するIWRMガイドラインおよび日本水フォーラムが作成する事例報告書に、琵琶湖での取組事例を掲載し発表・配付予定。



## 湖沼セッション・タイムテーブル（日本語訳）

時間	内容	
	開会（司会）滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課 副主幹 田上 淳一	
5分	開会挨拶	■ブラジル連邦区 連邦部局副長官 ファビオ・ペレイラ氏
10分	開催地からの事例報告	■パラノア湖保全の取組 ブラジル連邦区 連邦部局副長官 ファビオ・ペレイラ氏
10分	姉妹友好県州による基調講演	■琵琶湖保全の取組 滋賀県琵琶湖環境部 技監 小松 直樹氏
10分		■パトス湖保全の取組 ブラジル リオ・グランデ・ド・スール州連邦大学 水利研究センター准教授 リオ・グランデ・ド・スール州政府水資源部長 フェルナンド・メイレーレス氏
10分		■五大湖保全の取組 米国ミシガン州環境局五大湖室長 ジョン・アラン氏
40分	パネルディスカッション	■湖沼とそれにつながる水系の統合的管理： 持続可能な生態系サービスのための社会経済的・科学的な挑戦  モデレーター 国際湖沼環境委員会（ILEC）科学委員長 テキサス州立大学名誉教授 水環境低湿地センター国際流域研究所長 ウォルター・ラスト氏



	<p>パネルディスカッション</p>	<p>パネリスト</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ハンガリー国立公共大学教授 ユネスコ国際水文学計画多国政府間会議議長 持続可能な水の未来プログラム議長 世界水会議（WWC）理事 アンドラス・ソロシナジー氏</li> <li>2. イタイプ湖二国間機構環境管理長官 アリエル・シェファー・ダ・シルバ氏</li> <li>3. 国連環境計画（UNEP）淡水ユニット部門長 国連水関連機関調整委員会議長 ヨアキム・ハリン氏</li> <li>4. 嶺南大学教授（韓国） 世界水会議（WWC）理事 国際水理環境学会（IHES）会長 李舜鐸（リ・ソントク）氏</li> <li>5. アジア河川流域機関ネットワーク 独立行政法人水資源機構国際グループ 川崎 忠成氏</li> </ol>
	<p>総括</p>	<p>国際湖沼環境委員会（ILEC）科学委員長 テキサス州立大学名誉教授 水環境低湿地センター国際流域研究所長 ウォルター・ラスト氏</p>
<p>5分</p>	<p>■セッション主催者による閉会挨拶 滋賀県琵琶湖環境部 技監 小松 直樹氏</p>	

# 【参考】第7回世界水フォーラム

平成27年(2015年)4月12日～17日

韓国テグ市、キョンジュ市



キョンジュ市において2日間に渡り地方自治体プロセス会議が開催され、西嶋副知事が分科会に参加。



自治体プロセス会議の分科会に西嶋副知事はスピーカーとして参加し、世界の湖沼保全の重要性を訴えた。



国は「ジャパンパビリオン」として大きな面積を確保し、関係省庁や企業、自治体、NGO等がブースをまとめて出展。



閉会式において、2015年会議の関係者(韓国)と、2018年会議の関係者(ブラジル)が、開催地の引継式を行った。